区分29	専門分野 病態学	授業科目名	病態解析学演習	単位数	1単位 （30時間）
開講時期	3年　前期・後期	担当教員	藤田　修一	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

長崎大学熱帯医学研究所で病理解剖の実務経験がある。現在、長崎大学病院で、病理組織診断・細胞診業務に携わっている。

◆授業の目的・目標

病態解析学（病態学／臨床検査医学総論）は医療分野での専門知識と技術を習得するために必要な、医学の基礎を学ぶ科目で、臨床検査により、病態を解析し、診断・治療方針の決定・経過の観察・予後判定に寄与する臨床医学である。授業は疾患の原因や成り立ちを講義し、これに基づいて、検査の意義を理解し、検査結果を解釈できることを目的とする。

◆授業の概要・授業方針

授業では、臓器別・原因別に疾患の病態を概説し、対応する検査法や、その意義と結果の解釈を解説する。多数の臓器にわたって異常をきたす疾患も多いので留意すること。本授業は国家試験の対策としての側面もあるため、既出の国家試験問題に即して授業を進める。

◆テキスト・参考資料等

・指定の国家試験問題集
・最新臨床検査学講座　病態学／臨床検査医学総論（奈良信雄　他編　医歯薬出版）

◆成績評価の方法

卒業認定試験（単位認定試験）

	授業計画	チェック欄
第1回	序論、病気の症状と検査	
第2回	循環器疾患	
第3回	呼吸器疾患	
第4回	消化器疾患	
第5回	肝・胆・膵疾患	
第6回	血液・造血器疾患	
第7回	内分泌疾患	
第8回	腎・尿路疾患	
第9回	神経・運動器疾患	
第10回	感染症	
第11回	血液検査の異常	
第12回	体液・電解質・酸−塩基平衡の異常	
第13回	免疫異常	
第14回	代謝・栄養障害	
第15回	染色体・遺伝子の異常、悪性腫瘍の検査	